

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																
麻生医療福祉専門学校 福岡校	平成9年2月13日	竹口 伸一郎	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-12-29 (電話) 092-415-2294																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																
学校法人麻生塾	昭和26年3月12日	麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士															
商業実務	商業実務専門課程	医療情報科	平成23年文部科学省 告示第166号	—															
学科の目的	医療業界の事務分野に必要とされる診療報酬請求医事務に加え、情報処理の知識、Excel・Word・Accessなどの操作習得を通して、情報の収集・加工・分析技術を習得し、医学・医療分野・情報システム分野および情報処理分野の知識を統合し、医療業界におけるITに対応出来る人材を育成する。																		
認定年月日	平成26年3月31日																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技												
2年	昼間	1900時間	1,234時間	586時間	80時間	0時間	0時間												
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数														
80人	8人	0	1人	8人	9人														
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各期毎5段階にて評価 担当教員が定期試験、出席等の状況をもとに評価															
長期休み	■夏季:8月6日～9月1日 ■冬季:12月21日～1月6日 ■春季:3月11日～4月13日		卒業・進級条件	ア.指定科目全ての修得 イ.学年の出席率90%以上 ウ.卒業基準検定の取得 エ.学生としてふさわしい生活態度															
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ガイダンスの実施。学科責任者との面談、三者面談の実施。		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有															
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) 病院・クリニック・調剤薬局 ■就職指導内容 企業(就職先)から求められるものや、心構えについて。 また就職・業界の理解と自分の適性と職業選択、自己分析や履歴書、面接指導の徹底を行う。 ■卒業者数 11人 人 ■就職希望者数 11人 人 ■就職者数 11人 人 ■就職率 : 100.0 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100.0 % ■その他 (平成30年度卒業生に関する 令和元年5月1日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財)診療報酬請求事務能力認定試験</td> <td>③</td> <td>11人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>ITパスポート(国家資格)</td> <td>③</td> <td>11人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 特になし				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	財)診療報酬請求事務能力認定試験	③	11人	8人	ITパスポート(国家資格)	③	11人	4人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																
財)診療報酬請求事務能力認定試験	③	11人	8人																
ITパスポート(国家資格)	③	11人	4人																
中途退学の現状	■中途退学者 0名 平成30年5月1日時点において、在学者19名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者19名(平成31年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 退学者なし ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による要因を抱えた学生に対する個別面談。学生の情報を教員間で共有しながらの検討会の実施。 学科責任者や保護者を含めての面談。ガイダンス記録による報告。		中途退学率	0%															
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 東日本大震災により被災した進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 (前年度実績 0名)																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																		
当該学科のホームページURL	URL: http://www.asojuku.ac.jp/amfc/																		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

医療業界の事務分野に必要とされる診療報酬請求事務、コンピュータ技術、医学知識に加え、幅広い人間性が必要とされる接遇マナーが身についた人材を育成するため、実習先へのヒアリングをもとに指定カリキュラムでは不足している知識や技術を補完するための科目を追加し、現場のニーズに即した授業科目の編成を行う。実習においては、県内にとどまらず複数の実習施設と密に連携・調整しており、実習中および実習後は、担当教員や就職担当者が実習施設の担当者と意見交換を交わして本校教育にフィードバックする。また、就職先に実施するお客様アンケートにより現場のニーズを把握し科目編成に生かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、専門性に関する動向や方向性等について意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。委員会は、次の事項を審議し、会議の結果を学科内でのカリキュラム会議に報告する。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
 - ②各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
 - ③教科書・教材の選定に関する事項
 - ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項
- また、カリキュラム会議においては、教育課程委員会からの意見を参考に、学科の教育方針に則ったカリキュラムを検討し、策定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
潮田 大介	(有)ケンルック 事務長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日(1年)	③
小西 英樹	公立学校共済組合 九州中央病院 事務部長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日(1年)	③
副島 和代	そえじま内科クリニック 事務長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日(1年)	③
井上 将彦	(医)聖峰会 聖峰会マリン病院	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日(1年)	③
西山 謙	(公社)福岡県病院協会 診療情報管理研究研修会 委員長	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日(1年)	①
植木 浩二郎	麻生医療福祉専門学校福岡校 副主任	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日(1年)	
高田 ゆかり	麻生医療福祉専門学校福岡校 リーダー	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日(1年)	
勝見 令子	麻生医療福祉専門学校福岡校 専任教員	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日(1年)	
土屋 亜生子	麻生医療福祉専門学校福岡校 専任教員	平成31年4月1日～ 令和2年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 6月・11月(平成30年度は3回 開催)

(開催日時)

第1回 平成30年6月30日(土)14:30~16:30

第2回 平成30年11月9日(金)16:00~18:00

第3回 平成31年3月1日(金)16:00~18:00

第1回 令和元年6月29日(土)14:30~16:30

(開催日時 予定)

第2回 令和元年11月22日(金)16:00~18:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

医療業界は慢性的にIT人材が不足しているとのことで、医療事務よりもITスキルを持った学生を採用したいこと、パソコンに関しては若い人材に任せたいという風潮があるとの意見をいただいた。特に、医師事務作業補助業務については、今後も需要があるため学生に資格を取得させることを強く要望された。また、医師の隣についてパソコン入力などができるようにスキルを身に付けておいてもらえると、現場としては助かるとの意見もいただいた。これらの意見を受けて、平成31年度のカリキュラムにおいては、医師事務作業補助を全員に受験させるように変更を行い、資格取得への取り組みを強化した。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

医療機関等でのヒアリング及びお客様アンケートの情報に基づき、病院等の事務職に広く必要とされる患者様とのコミュニケーション能力や医療事務知識及びITオペレーション技術の実務適応能力の確認を行うことを目的とする。医療事務職として実務レベルの技術を身につけるため、実習先は実習生への教育カリキュラムが確立されていること及び業務を経験できることを選定基準とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

効果的な実習を実現するため、実習前には実習担当者(医療機関)と、現場で求められるスキル、資格などの確認をおこない、学生の実習目標を定め実施する。実習期間中は、実習指導者とのヒアリングをおこない、学生の能力が向上するよう効果的に学生への助言・指導を実施する。実習終了後、実習担当者(医療機関)と連携して目標達成に関する評価をおこなう。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
病院実習Ⅰ	現場で医療事務がどのような仕事をしているかを見学し、今後の仕事観を養うとともに現在の学習の意味を知る。	株式会社麻生 麻生飯塚病院 医療法人社団廣徳会 岡部病院 社会医療法人喜悦会 那珂川病院 社会医療法人 原土井病院 社会医療法人財団池友会 福岡和白病院 医療法人社団水光会 宗像水光会総合病院 他
病院実習Ⅱ	現場で外来受付や診察券の作成、コンピュータ端末入力など、患者様とのふれあいや、実際の仕事を体験することにより、仕事に即対応できる知識と技術を身につける。	株式会社麻生 麻生飯塚病院 医療法人社団廣徳会 岡部病院 社会医療法人財団池友会 福岡和白病院 医療法人輝栄会 福岡輝栄会病院 医療法人佐田厚生会 佐田病院 他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る、職務の遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が、計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「日本医療秘書実務学会第9回全国大会」(連携企業等:日本医療秘書実務学会)

期間:平成30年9月8日～9月9日 対象:専任教員1名

内容:医療秘書職や医療事務職の医療現場や教育現場からの実践報告

- ・外来診療補助業務でのメディカルクラークの役割
- ・医療秘書における『屋根瓦方式』の教育について
- ・中小病院事務職員のあり方へのアプローチ

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「発達障害についての理解と支援」(連携企業等:九州大学教育学部、慶應義塾大学出版会)

期間:平成30年11月17日 対象:専任教員1名

内容:発達障害のある子どもへの合理的配慮とは何かをもとに、生徒・学生への具体的な支援を考える。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:「2020年診療報酬改定セミナー」(連携企業等:一般財団法人日本医療教育財団)

期間:令和2年3月予定 対象:専任教員1名

内容:診療報酬改定時のポイント解説

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「カウンセリングⅠ」(連携企業等:日本交流分析協会)

期間:平成31年4月24日 対象:新任教員

内容:学生との話し方、面談の仕方、指導の仕方の基本的なルール、注意点を学ぶ。

研修名「コーチング実践」(連携企業等:組織デザイン・ラボ)

期間:令和元年8月7日 or 令和2年2月19日 対象:専任教員

内容:学生のやる気と能力を引き出すコーチングの基本スキル(傾聴・質問・承認)について、ロールプレイングを通して学ぶ。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりを行う。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5)学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11)国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

資格の重要性はわかるが、挨拶や「報・連・相」をはじめとするコミュニケーションスキル等、社会人能力を高めることが足りないと感じているのでその教育について強化をしてほしいという提案をいただいた。

麻生塾オリジナル科目「GCB」を通して感謝心や志を持つことの意味を考えることに力を入れているが、さらに普段の生活からも挨拶やコミュニケーションが重要であることを伝え、学科を超えて指導にあたるよう意識の共有を図った。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和元年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
玉ノ井 敏子	(福)まごころ会 あゆみらい保育園 園長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
渡辺 裕子	(福)幸府福祉会 児童発達支援センターすみれ園 園長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
桑原 由美子	(NPO)発達障がい者就労支援ゆあしっぶ 理事長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
武田 聡	(NPO)木もれ日 カフェ ヒュッテ 施設長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
江川 順一	(福)つくし福祉会 特別養護老人ホーム はなつくし 施設長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
大庭 欣二	(同)福岡福祉向上委員会 代表	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
占部 尊士	(学)永原学園 西九州大学短期大学部 准教授	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
大澤 利通	(公社)福岡県介護福祉士会 理事	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	企業等委員
大山 和宏	(一社)福岡県精神保健福祉士協会 会長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
潮田 大介	(有)ケンルック 事務長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
副島 和代	そえじま内科クリニック 事務長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員
井上 将彦	(医)聖峰会 マリン病院 事務次長	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	企業等委員

小西 英樹	公立学校共済組合 九州中央病院 事務部長	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	企業等委員
西山 謙	(公社)福岡県病院協会 診療情報管理研究研修会 委員長	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	企業等委員
熊谷 智彦	(学)久留米学園 久留米学園高等学校 校長	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	高校関係者
高田 照幸	株式会社 たかた商会 代表取締役	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	地域住民
西原 真由美	こども未来学科 保護者	平成30年4月1日～ 令和2年3月31日(2年)	PTA
所崎 あすか	診療情報管理士科 保護者	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	PTA
眞島 顕弥	こども未来学科 平成27年度卒業生	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	卒業生
宮井 浩志	社会福祉科 平成15年度卒業生	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	卒業生
田中 隼平	心理カウンセラー科 平成26年度卒業生	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	卒業生
山下 朋子	ソーシャルワーカー科 平成20年度卒業生	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	卒業生
大本 栞	医療秘書科 平成23年度卒業生	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	卒業生
中井 志帆	診療情報管理士科 平成24年度卒業生	平成31年4月1日～ 令和3年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/amfc/2019/hvoka.pdf>

公表時期: 令和元年7月22日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方、4つの特徴
(2) 各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、国家資格・検定、就職情報
(3) 教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6) 学生の生活支援	生活環境サポート、留学生学習・生活サポート、留学生就職サポート
(7) 学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援、各種支援制度
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生入学案内、留学生募集分野、グローバル教育
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(学生便覧)

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/amfc/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 医療情報科) 平成31年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			医療事務（医科）I A-①	診療報酬請求事務（医科）に関する基礎知識の習得を図る。	1前	60		○			○		○		
○			医療事務（医科）I A-②	診療報酬請求事務（医科）に関する基礎知識の習得を図る。	1前	90		○			○		○		
○			医療事務（医科）I B-①	診療報酬請求事務（医科）に関する基礎知識の習得を図る。	1後	60		○			○		○		
○			医療事務（医科）I B-②	診療報酬請求事務（医科）に関する基礎知識の習得を図る。	1後	90		○			○		○		
○			病院管理 A	病院事務現場の基礎的認識から医療保険制度までを学ぶ。	1前	30		○			○			○	
○			病院管理 B	病院事務現場の基礎的認識から医療保険制度までを学ぶ。	1後	30		○			○			○	
○			解剖生理学 A	解剖生理学を中心に、人間の身体の仕組みや働き・名称などを実務に即して学ぶ。	1前	30		○			○			○	
○			解剖生理学 B	解剖生理学を中心に、人間の身体の仕組みや働き・名称などを実務に即して学ぶ。	1後	30		○			○			○	
○			医療情報基礎 I A	情報処理の知識を学び、医療分野でのIT化を推進できる知識を持ち、故障や設定などに対応できる対応力を身につける。	1前	90		○			○		○		
○			医療情報基礎 I B	情報処理の知識を学び、医療分野でのIT化を推進できる知識を持ち、故障や設定などに対応できる対応力を身につける。	1後	90		○			○		○		
○			一般常識 I A	高校卒業レベルの各教科の基礎知識を中心に、一般教養をレベルアップする。	1前	30		○			○			○	
○			一般常識 I B	高校卒業レベルの各教科の基礎知識を中心に、一般教養をレベルアップする。	1後	30		○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			Windows演習 (Word基礎/Excel基礎)	パソコン全般の基本操作を学び、Word/Excelを使って効率の良い仕事が行える。関数や書式設定を使用し、フォーム作成などが行え、仕事の共通資料が作成できる。	1前	60			○		○		○		
○			Windows演習 (Excel応用①)	パソコン全般の基本操作を学び、Excelの複雑な関数などを使って効率の良い仕事が行える。仕事の共通資料が作成できる。	1後	60			○		○		○		
○			Access演習IA	データベースの概念とAccessの基本操作を学び、データベース基礎を構築することができる。	1前	30			○		○			○	
○			Access演習IB	データベースの概念とAccessの基本操作を学び、検定3級取得を目指す。	1後	30			○		○			○	
○			自己表現法A	人前で話すことに慣れ、自分で考え自分の言葉で論理的・個性的に表現できるようにする。	1前	30			○		○			○	
○			自己表現法B	人前で話すことに慣れ、自分で考え自分の言葉で論理的・個性的に表現できるようにする。	1後	30			○		○			○	
○			ビジネスマナーIA	社会人として、必要な幅広い知識をさまざまな実践を通し身に付けさせる。	1前	30			○		○			○	
○			ビジネスマナーIB	社会人として、必要な幅広い知識をさまざまな実践を通し身に付けさせる。	1後	30			○		○			○	
○			介護保険	介護保険の仕組みについての基礎知識の習得を図る。	1後	30			○		○			○	
○			病院実習I	現場で医療事務がどのような仕事をしているかを見学し、今後の仕事観を養うとともに現在の学習の意味を知る。	1後	40					○		○	○	○
○			就職実務IB	全員の就職内定を目標に、情報提供や各種文書作成・面接指導を行う。	1後	30			○		○			○	
○			GCB I	「感謝と思いやり」をテーマに、人間力、集団力、マナーの本質、行動力を学ぶ。	1前	16			○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			病院実習前後指導ⅠB	病院実習に対する心構えおよび実習前の打ち合わせアポイントの取り方、実習ノートの記載方法などを指導し、病院実習を通して理解させる。	1後	16		○			○	○			
○			医療事務(医科)ⅡA	(財)診療報酬請求事務能力検定試験を目指し、より専門性の高い知識を身に付けさせる。	2前	60		○			○	○			
○			医療事務(医科)ⅡB	(財)診療報酬請求事務能力検定試験を目指し、より専門性の高い知識を身に付けさせる。	2後	60		○			○	○			
○			ビジネスマナーⅡA	社会人として、必要な幅広い知識をさまざまな実践を通し身に付けさせる。	2前	30			○		○	○			
○			ビジネスマナーⅡB	社会人として、必要な幅広い知識をさまざまな実践を通し身に付けさせる。	2後	30			○		○	○			
○			英会話A	基礎英語を学び、外国人の患者対応ができるようにする	2前	30		○			○		○		
○			英会話B	基礎英語を学び、外国人の患者対応ができるようにする	2後	30		○			○		○		
○			医療情報基礎ⅡA	医療情報システムについて学び、医療情報基礎知識検定合格を目指す。	2前	90		○			○	○			
○			医療情報基礎ⅡB	医療情報システムについて学び、医療情報基礎知識検定合格を目指す。	2後	30		○			○	○			
○			Windows演習(Excel応用②)	Excelの応用操作および関数やゴールシーク、統合などが使用できる。また、PowerPointの操作方法を学び、プレゼンテーション技法を習得する。	2前	60			○		○	○		△	
○			Windows演習(実践)	PowerPointの操作方法を学び、プレゼンテーション技法を習得する。	2後	46			○		○	○		△	
○			一般常識ⅡA	SPIや時事問題を中心とした一般常識問題の知識習得を図る。	2前	30		○			○		○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			Access 演習ⅡA	Accessの応用操作を学び、データベース操作を行うことができ、クエリをつかい必要な表やデータを抽出することができる。	2前	60		○			○			○	
○			Access 演習ⅡB	Accessの応用操作を学び、データベース操作を行うことができ、検定2級取得を目指す。	2後	30		○			○			○	
○			レセプトコンピュータ演習A	レプトコンピュータにて、医療費の計算、明細書の発行、処方箋、領収書の発行等基本操作の習得を図る。	1前	30		○			○			○	
○			レセプトコンピュータ演習B	レプトコンピュータにて、医療費の計算、明細書の発行、処方箋、領収書の発行等基本操作の習得を図る。	1後	30		○			○			○	
○			就職実務ⅡA	全員の就職内定を目標に、情報提供や各種文書作成・面接指導を行う。	2前	30		○			○			○	
○			就職実務ⅡB	全員の就職内定を目標に、情報提供や各種文書作成・面接指導を行う。	2後	30		○			○			○	
○			病院実習Ⅱ	現場で外来受付や診察券の作成、コンピュータ端末入力など、患者様とのふれあいや、実際の仕事を体験することにより、仕事に即対応できる知識と技術を身につける。	2前	40				○		○		○	○
○			卒業研究	医療業界を取り巻く環境や将来への課題等をテーマに論文を作成し、既学習内容の総まとめを行う。	2後	30		○			○			○	
○			GCBⅡ	「感謝と志」をテーマに、人間力、集団力、マナーの本質、行動力を学ぶ。	2前	16		○			○			○	
○			病院実習前後指導ⅡA	病院実習の反省と振り返りを行い、全体で共有を図るため、模造紙などにまとめて発表を行う。また1年生は次年度のために見学、実習へ備える。	2前	16		○			○			○	
合計					46科目		1,900単位時間(単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<ul style="list-style-type: none"> 各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。 卒業基準検定を取得していること。 学年の出席率が90%以上であること。 学生としてふさわしい生活態度であること。 		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週